

平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月30日

上場取引所 大

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社
 コード番号 2198 URL <http://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 和斗志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 登田 朗

TEL 050-3539-1122

四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年10月期第2四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第2四半期	5,669	△5.3	499	△43.3	470	△44.1	142	△70.5
22年10月期第2四半期	5,990	—	880	—	842	—	483	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第2四半期	38.57	38.45
22年10月期第2四半期	146.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年10月期第2四半期	12,681	5,071	40.0	1,370.99
22年10月期	13,510	5,016	37.1	1,355.91

(参考) 自己資本 23年10月期第2四半期 5,071百万円 22年10月期 5,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	0.00	—	23.50	23.50
23年10月期	—	0.00	—	—	—
23年10月期(予想)	—	—	—	23.50	23.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,144	△4.3	1,360	△19.9	1,273	△20.5	570	△32.4	154.20

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社（社名 スイートヴィラガーデン株式会社）、除外 1社（社名
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年10月期2Q	3,699,500株	22年10月期	3,699,500株
② 期末自己株式数	23年10月期2Q	128株	22年10月期	74株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年10月期2Q	3,699,423株	22年10月期2Q	3,299,500株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資等において一部回復の動きが見られたものの、平成23年3月11日の東日本大震災の発生が日本経済に甚大な被害をもたらし、今後の景気に与える影響が懸念される状況で推移しました。

ウェディング業界におきましては、平成22年の婚姻件数は70万6,000組と推計され（厚生労働省「平成22年人口動態統計の年間推計」）、ゲストハウス・ウェディングの需要は底堅く推移しておりますが、専門式場やホテルのリニューアル、価格競争の激化、顧客ニーズの多様化等により、競合環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「お客さまの感動のために！」という企業信念に基づき、お客様の「感動の最大化」を図るため接客力・企画提案力の向上に努め、地方都市を中心に堅実な店舗展開を進めてまいりました。具体的には、お客様の多様なニーズに対応するため、平成23年4月に当社では初めてとなるレストラン「キュージーン フランセーズ ラ・チャンス」（富山支店レストラン）をオープンいたしました。また、従来とは異なる顧客層をメインターゲットとし、初期投資を抑えオペレーションを効率化した新たなコスト構造での婚礼事業を展開していくため、「スイート ヴィラ ガーデン株式会社」を設立するなど、積極的な事業展開に努めてまいりました。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、いわき支店が一時的な営業停止を余儀なくされ、挙式・披露宴の延期、キャンセルが発生いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,669百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は499百万円（前年同四半期比43.3%減）、経常利益は470百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。四半期純利益は、特別損失として災害による損失128百万円及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額51百万円等を計上した結果、142百万円（前年同四半期比70.5%減）となりました。なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

いわき支店が東日本大震災の被害を受けたこと等により施行組数が減少した他、平成23年4月にオープンした「キュージーン フランセーズ ラ・チャンス」（富山支店レストラン）及び8月にオープン予定の「ララチャンスベルアミー」（盛岡支店）の出店費用が発生しました。この結果、売上高は5,505百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は485百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。

② 葬儀事業

売上高は164百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は14百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ829百万円減少し12,681百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,502百万円減少し、「キュージーン フランセーズ ラ・チャンス」（富山支店レストラン）の取得及び「ララチャンスベルアミー」（盛岡支店）の工事の進行に伴う建設仮勘定の増加により、有形固定資産が633百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ885百万円減少し7,609百万円となりました。これは主に、資産除去債務を245百万円計上した一方で、未払法人税等が477百万円、長期借入金が619百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し5,071百万円となりました。これは主に、四半期純利益を142百万円計上したことと86百万円の期末配当を実施したことによるものであります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.9ポイント上昇し40.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,502百万円減少し2,051百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は118百万円（前年同四半期は1,329百万円の収入）となりました。資金増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益286百万円、減価償却費393百万円であり、資金減少の主な内訳は、仕入債務の減少額130百万円、法人税等の支払額655百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は642百万円（前年同四半期は623百万円の支出）となりました。これは主に、「キュージーン フランセーズ ラ・チャンス」（富山支店レストラン）及び「ララシャン スペルアミー」（盛岡支店）の有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は741百万円（前年同四半期は98百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出619百万円、配当金の支払額86百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を踏まえ、平成22年12月14日に公表いたしました業績予想を平成23年5月13日に修正いたしました。通期の連結業績予想につきましては、売上高は12,144百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は1,360百万円（前年同期比19.9%減）、経常利益は1,273百万円（前年同期比20.5%減）、当期純利益は570百万円（前年同期比32.4%減）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したスイート ヴィラ ガーデン株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益がそれぞれ7,851千円減少し、税金等調整前四半期純利益が59,829千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は229,367千円です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,051,504	3,554,162
売掛金	262,631	313,982
商品	85,237	74,790
原材料及び貯蔵品	95,011	64,912
その他	212,052	212,985
貸倒引当金	△6,949	△7,830
流動資産合計	2,699,487	4,213,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,015,332	6,764,983
土地	1,578,983	1,578,983
その他（純額）	705,786	322,925
有形固定資産合計	9,300,103	8,666,892
無形固定資産	92,897	96,510
投資その他の資産	588,726	534,189
固定資産合計	9,981,727	9,297,592
資産合計	12,681,214	13,510,595
負債の部		
流動負債		
買掛金	479,213	609,953
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,173,320	1,249,172
未払法人税等	198,388	676,368
賞与引当金	161,261	149,438
災害損失引当金	72,290	—
その他	1,152,426	1,104,828
流動負債合計	3,306,900	3,859,760
固定負債		
社債	115,000	150,000
長期借入金	3,443,615	3,987,713
退職給付引当金	65,450	61,573
役員退職慰労引当金	199,971	195,322
ポイント引当金	44,983	42,101
資産除去債務	245,534	—
負ののれん	—	858
その他	187,942	197,167
固定負債合計	4,302,496	4,634,736
負債合計	7,609,396	8,494,496

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,568	336,568
資本剰余金	340,224	340,224
利益剰余金	4,395,141	4,339,374
自己株式	△115	△67
株主資本合計	5,071,818	5,016,098
純資産合計	5,071,818	5,016,098
負債純資産合計	12,681,214	13,510,595

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)
売上高	5,990,206	5,669,797
売上原価	2,669,244	2,572,294
売上総利益	3,320,961	3,097,502
販売費及び一般管理費	2,440,681	2,598,002
営業利益	880,280	499,500
営業外収益		
受取利息	390	353
受取手数料	—	2,061
還付加算金	2,886	—
祝金受取額	3,220	—
負ののれん償却額	858	858
その他	3,409	2,338
営業外収益合計	10,764	5,612
営業外費用		
支払利息	41,483	30,804
その他	6,818	3,468
営業外費用合計	48,302	34,272
経常利益	842,742	470,839
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	1,037
特別利益合計	12	1,037
特別損失		
固定資産除却損	6,386	4,624
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	51,978
災害による損失	—	128,865
特別損失合計	6,386	185,468
税金等調整前四半期純利益	836,368	286,407
法人税、住民税及び事業税	411,552	190,540
法人税等調整額	△58,888	△46,837
法人税等合計	352,664	143,703
少数株主損益調整前四半期純利益	—	142,704
四半期純利益	483,703	142,704

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	836,368	286,407
減価償却費	437,193	393,630
負ののれん償却額	△858	△858
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	51,978
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△242	△1,037
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,434	11,823
災害損失引当金の増減額（△は減少）	—	72,290
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,856	3,876
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	10,327	4,649
ポイント引当金の増減額（△は減少）	3,293	2,882
固定資産除却損	6,386	4,624
受取利息	△390	△353
支払利息	41,483	30,804
シンジケートローン手数料	573	499
売上債権の増減額（△は増加）	△10,798	54,185
たな卸資産の増減額（△は増加）	△24,469	△40,545
仕入債務の増減額（△は減少）	△23,361	△130,739
その他	172,895	△186,697
小計	1,456,690	557,419
利息の受取額	390	353
利息の支払額	△42,563	△31,240
シンジケートローン手数料の支払額	△201	—
法人税等の還付額	2,257	10,499
法人税等の支払額	△87,164	△655,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329,408	△118,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△585,580	△618,643
無形固定資産の取得による支出	△9,324	△4,219
その他	△28,843	△19,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△623,748	△642,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	464,100	—
長期借入金の返済による支出	△528,062	△619,950
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
自己株式の取得による支出	—	△48
配当金の支払額	—	△86,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,962	△741,356
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	606,698	△1,502,658
現金及び現金同等物の期首残高	1,890,540	3,554,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,497,239	2,051,504

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「婚礼事業」の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年11月1日 至 平成22年4月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業及び葬儀事業であります。葬儀事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。